

第4回 7月9日(金)～7月10日(土) 一流塾合宿

今回の一流塾は都会の喧騒を離れ、「中伊豆ワイナリーヒルズ」で合宿研修を行い、講師に白石真澄氏(関西大学政策創造学部教授)をお迎えしました。合宿会場はシダックス㈱の志太勤会長が「文化の一端を担う世界に通じるワイン」を作ることを目指して設立されたものです(ちなみに、志太勤会長には第1部、第2部の講義にご出席頂きました。)



第1部の講義では、白石氏は、『少子高齢化と企業経営』と題し、日本は少子化・高齢化により今後は人口減少が見込まれ、高齢化社会を支える労働力の担い手として「女老外(女性・老人・外人)」を活用する時代がやってくる。女性の活用のためには、柔軟な雇用制度と地域・企業が一体になった育児支援制度の充実が必要であると、先進的な自治体・企業の子育て支援の取組をご紹介頂きました。塾生からは、「女性の活用を改めて考える良いきっかけとなった」、「先進的な他社事例を紹介頂き大変参考になった」、といった声が寄せられました。

第2部の講義は、一柳塾長から『ベンチャー政治家 田中角榮論』と題した講演を行いました。一柳塾長は田中角榮先生が通産大臣に就任されていた時に、大臣秘書としてお仕えしており、角榮先生の言葉の分析から得られた、「異なる3点から情報をとれ」「まず、自分のアンサーを持って」等の教訓5カ条は企業経営に通じるものがある、と説きました。また、角榮先生は人脈作りにも大変長けており、その秘訣をまとめた「角榮流 人脈作り 10カ条」を秘書時代の思い出を交えながら披露しました。塾生からは「角榮先生の人間力のすごさを改めて認識した」、「角榮先生に直に接した一柳塾長ならではの臨場感・迫力ある語り口に大変感銘を受けた」といったコメントがありました。



講義後の懇親会ではゲストに渡邊五郎氏(森ビル㈱特別顧問、元三井物産㈱副社長)、絹谷幸二氏(日本芸術院会員、洋画家)をお招きし、ウィットに富んだ卓話をご披露頂きました。また、塾生1分間スピーチを行い、近況報告やゲストの卓話を受けてウィットに富んだ小話が披露され、一同大いに盛り上がり、同窓意識を深める良い機会となりました。

あとは有志で塾長らを囲んで深夜までまじめな話からやわらかい話まで、酒を飲みながら懇親して、集まった仲間の理解を一層深めました。

翌朝は、ワイナリーの見学を行い、富士山を背景に視界いっぱいに広がる葡萄畑の前で記念写真を撮りました。

